

# 「知恵」(「ホフマー」חֹכְמָה)の分類

●以下のチャートは、ティンデル聖書注解の「箴言」(いのちのことば社)の執筆者であるデレク・ギドナーの「知恵」の類義語の分類を参照して、自分なりに整理したものです。

## 教育・しつけ

1. 「ムーサール」(מוֹסֵר) 警告から懲罰までの幅を持つ厳しさがある。  
「トーハハット」(תּוֹכַחַת) 理性と良心に訴える叱責と矯正でしつける。

## 物事を見分けて判断する

2. 「ヴィーナー」(בִּינָה) 「悟り」と訳され、物事を理解する。  
「テヴィーナー」(תְּבִינָה) 「英知」と訳され、善悪を判断する。  
●「ヴィーナー」と「テヴィーナー」の動詞は、いずれも「ビーン」(בִּין)。

## 賢い取扱い(すぐれた知性)

3. 「トーシツヤー」(תּוֹשֵׁיָה) 「すぐれた知性」と訳される実際的な機転。  
「セヘル」(שֶׁחַל) 「聡明さ」「思慮」の意。  
「マスキール」(מַשְׁכִּיל) 「思慮深い」の意。  
●「セヘル」「マスキール」の動詞は「サーハル」で「成功する」という意味を有する。

## 抜け目なさ

4. 「オルマー」(עֲרֹמָה) 「分別」の意。  
「メズイーマー」(מְזִימָה) 「識別力」「慎重さ」の意。  
「タフブロート」(תְּחַבְּלוֹת) 「指導」の意。  
●現実的な視点から段取りを計画し、識別力をもって助言や指導ができる能力のこと。

## 説得力のある知識

5. 「ダアット」(דַּעַת) 神を知るための多くの「知識」の意。  
「レカハ」(לָקַח) 「説得力をもって理解させる」意。  
●「レカハ」の動詞「ラーカハ」は「取る」を意味し、そこから説得力の意が派生する。